

野原・日豪親善交流事業（NJA）（民間（NPO等）主体の交流／その他）

交流団体名

日本側		相手側		
自治体名	交流団体名	国・地域名	自治体名	交流団体名
宍粟市	野原小学校	オーストラリア	ブリスベン市	アイアンサイド小学校

交流の概要

1981年、日豪親善事業としてアイアンサイド小学校が来校して以来、将来を担う子どもたちが交流を通して異文化理解を図るとともに、国際感覚を身につけた日本人としての主体性を高めることを目的として、隔年ごとに相互訪問する形態で、2010年までに30年間交流が継続・実施されている。訪日団受入回数15回・受入人数950人、訪豪団派遣回数12回・派遣人数420人の実績がある。昨年度からは、小学校にも外国語活動が取り入れられているが、このことを考えても有意義・先駆的な取り組みである。



【2010アイアンサイド小での交流授】



【2010エアーズロック記念撮影】

今後の展望・課題

野原小学校区全体で取り組んできた本事業の30年間の歴史と伝統を基礎に、多文化共生社会の実現に努める子どもたちの育成を目指すとともに、子どもから老人までを対象とした地域ぐるみの交流を続けていく中で、「ともに生きる地域づくり」「地域あげての国際理解教育」に取り組んでいきたい。

優れた特色

早くから異文化理解の重要性を認識し、継続的に小学校の相互訪問を実施することで、国際感覚を身につけた人材の育成に貢献している。